

1 学校教育目標

○深く考え、自ら学ぶ人
 ○自他を尊重する心豊かな人
 ○心身ともにたくましい人
 人権尊重を基調として、社会の変化に対応した知・徳・体の調和のとれた人間性の育成を目指して、全教育課程において、「夢・挑戦・自立」をキーワードとした教育活動を展開する

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	将来への夢や目標をもち、自立し社会に貢献できる人材を育む学校 ○ 一人一人を大切にし、互いの良さを認め合い、個の能力を伸長できる学校 ○ あらゆる場面・機会をとらえ、心と体を磨き鍛え、豊かな人間性を育む学校 ○ 地域・保護者・学校、三位一体の総合力で生徒の育成を図る学校
○児童・生徒像	夢や目標をもち、自分で考え、判断・表現・行動し、課題解決できる生徒 ○ 基礎的・基本的な知識・技能と主体的に学習に取り組む態度を身につけた生徒 ○ 友情や思いやりの心を育て、自他を尊重する心豊かな生徒 ○ 行事や部活動・奉仕活動に積極的に取り組み、地域に感謝・貢献できる生徒
○教師像	主体的かつ的確な判断ができ、組織として迅速に動くことができる教職員 ○ 危機管理とサービスの徹底・厳守を常に意識できる教職員集団 ○ 新学習指導要領を踏まえ積極的・意欲的に研修や授業改善に取り組み、自ら学ぶ姿勢で知識・視野を広げ、専門性を高める教職員 ○ 人間性豊かで、教員としての基礎基本を身につけた教員

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

・全校生徒が落ち着いた生活を送ることができている。教員の熱意ある指導により学習指導、生活指導、生徒会、部活動など充実した学校生活が営まれている。

・全教員が統一した学びのスタイルを意識した授業改善に取り組み、少しずつ定着してきている。区学力調査では、各教科学校全体の通過率はやや上昇したものの、60%に満たない学年の教科も多数あり、正答率も学年が上がるにつれて下がっている。

・近隣特別支援学校との交流、近隣小学校との連携・交流、地域町会自治会行事へのボランティア活動に多くの生徒が参加した。さらなる充実を図る。

・不登校生徒や特別支援の必要な生徒が多い。関係機関との連携を図り、一人一人の生徒に応じた対応を組織的に考えていく。教育相談体制の充実を図るとともに教員の教育相談技術の向上を目指す。また発達障害等のある生徒について、ケース会議を開き、共通理解、共通行動、個別の支援を行っていく。

・行事への保護者参加は増加している。しかし、授業参観・学校公開・保護者会への参加はまだ十分とは言えない。魅力ある取組について今後も考え、工夫していく必要がある。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	小中連携	○	○	○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
統一した学びのスタイルが定着してきているが、形だけでなく、自力思考や自力解決が円滑にできるよう発問、方法や形態の工夫、ICTの活用等改善を図る。国語、数学、英語の3科を中心に中間層の学力を伸ばす。家庭学習の習慣化に向けた取組を実践する。		国語・数学・英語とも各55% ※国語は現状維持、数学3.3、英語1.2ポイントアップする。 年度末定着度確認問題の国数英の正答率60% 区意識調査の「授業が楽しい」「見通しをもって学習に取り組む」90%、2月生徒意識調査の「統一した学びのスタイル関連6項目」90% 令和3年度区調査全教科の通過率50%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	家庭学習の習慣化	全教科	毎日	家庭学習ノートと連絡帳を兼ねた冊子を作成し、毎日提出させる。	毎日の提出	提出率100%			
							自己評価の際に記入		

2 継続改善	授業改善	全教科	授業観察 日常と自己申告前後	管理職・教科指導専門員が日常の授業観察と観察後の指導・助言、自己申告面接、研究授業・研究協議を通して、授業改善を図る。	授業観察と自己申告面接 生徒意識調査	授業がわかる 90% 学びのスタイル 関連項目 90%			
3 新規	ICT機器を活用した授業改善	全教科	授業観察 日常と自己申告前後	日常の授業や校内外の研究授業で、ICT機器を有効活用した授業について情報共有や研修を図り、実践する。	授業観察と自己申告面接 生徒意識調査	授業でICT機器が活用されている80%			
4 継続改善	放課後補充教室	国数英の3科中心 時期によって理社	水曜を除く毎日	教科担当+学年教員 つまずいた箇所を個別に演習する。既習内容の復習をし、基礎学力の向上を図る。	年度末確認問題(2月)	年度末確認問題(2月)の国数英の正答率60%			

重点的な取組事項－2	豊かな心の育成
-------------------	---------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を育む	「自分にはよいところがある」70%	自己評価の際に記入		

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権尊重教育の推進	校内意識調査「友達や他の人のよさを見つけ、大切にしている」80%	道徳推進教師を中心とした全校体制による道徳教育の充実 全教育活動を通して互いを尊重し合う好ましい人間関係を築く	自己評価の際に記入		

キャリア教育の推進	区意識調査「夢や目標をもっている」80%	職業教育や体験活動を通して夢をもち将来を考え自立できる力を育成する系統的な指導 自治活動の中で自分の役割を果たすことで主体的な体験活動の充実を図る。			
教育相談の充実	校内意識調査「悩みを相談しやすい」80%	相談室、はばたきルーム、特別支援教室の整備 教育相談・特別支援教育に関する研修 ケース会議の開催			

重点的な取組事項－3		小中連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学びの連続を意識した教育活動の推進		教員による研修会 1 回実施	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
研究授業公開	授業公開	授業改善推進校として、生徒が主体的に学習に取り組む研究授業の公開			
教員の交流	教育課題研修 1 回	共通の教育課題についての研修会			
生徒・児童の交流	交流事業	児童への学校紹介のビデオ作成と配信、			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）